

平成27年度

公益社団法人 伊勢市観光協会

事業計画書

公益社団法人伊勢市観光協会

平成27年度 事業計画

はじめに

第62回神宮式年遷宮は終わりました。悪天候が影響したとは言え平成27年1月の内宮参拝客は99万4千人と昭和47年以来の100万人割れという結果になりました。20年先を見据え、次の遷宮へ向けた神都伊勢の魅力を新たに発信して行かねばなりません。

また一方で北陸新幹線の開業や増え続ける外国人観光客、オリンピックやカジノ法案制定を弾みにして進む都市の大規模再開発と云ったニュースが伝わって来ます。ここ数年来遷宮関連の諸行事で話題を集めて来たこの地域の観光にも変化が現れ、今後は人の流れも大きく変わって行くものと思われまます。国は地方の景気浮揚のため様々な分野に莫大な予算を組んでいます、それらをしっかりと地場の活力に取り込めるかどうかはそれぞれの地域のアイデアや戦略の立て方如何に掛かって来ます。県は食の関連事業で国から地方創生の予算を獲得し、この夏ミラノで開かれる国際博覧会にも「三重県 week」として出展を予定しています。また2年後には伊勢にて第27回全国菓子大博覧会が開催されます。伊勢やこの地域の観光は新たな段階へ進みつつあります。

平成27年度伊勢市観光協会の役割は、引き続き伊勢の魅力を発信しながら、諸行事を通して訪れたお客様方の満足度を高め、この地域への観光客の入れ込みを下支えして行くことと考えます。情報発信・おもてなし行事・青年の各部会はポスト遷宮に向け新しい発想を持って諸事業の計画・実施を図っていただきたい。また中期政策検討部会には当協会の財務体質改善・外宮前観光情報拠点整備に向けた具体策を提言・実践をしていっていただきたいと考えます。とりわけ会員の拡大は組織の強化には最も有効な手段であり実施は急務と考えます。

これまで伊勢は主に国内の集客力だけで活力を維持してきましたが、今後日本の人口減少は避けられなく、海外からの観光客動員は大きな課題となります。国や県の施策とも連携しインバウンドに積極的に取り組みたいと考えます。また、よりこの地域の魅力を高めるため近隣の観光協会とも連携を深め、広域連携で施策を進める体制を作って行きたいと思っています。厳しい時代に向かうなか市民の皆さんにも理解を深めてもらい、観光がけん引役となって伊勢の街を元気に行きましょう。

伊勢市観光協会の皆さんのより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

公益社団法人伊勢市観光協会
会 長 濱田 典保

<公益目的事業－旅客誘致事業>

1 広報宣伝事業（情報発信部会、その他）※括弧内は、事業を中心的に推進していく部署です

伊勢の知名度をさらに高め、多様化している内外観光客のニーズに対応できる観光情報を提供できるホームページやメールマガジン等の充実を図ります。

特に2年目となる青年部事業の伊勢のファンクラブ事業では会員拡大を目指すと同時に新たな企画を立て情報発信に努めます。同じくマスコットキャラクター事業も活躍の場を増やし効果的な情報発信に繋がります。

広報宣伝事業におきましては次の事業を行います。

1. ホームページ等、インターネットを利用した観光情報提供（情報発信部会）
2. 観光案内所における観光情報の提供（案内所、事務局）
3. 「お伊勢さん観光ガイドの会」によるメディア等取材協力（おもてなし行事部）
4. 行政との観光ポスター、パンフレット作成及び配布の共同事業
(情報発信部会、事務局)
5. 観光物産展等によるPR誘客活動（青年部、事務局）
6. マスメディアへの資料提供、取材協力、並びに宣伝活動（事務局）
7. 観光大使及び御師と連携し、口コミ等による全国発信の強化（情報発信部会）
8. 伊勢のファンクラブ事業（青年部）
9. 第48回日本観光祈願祭の開催（祈願祭実行委員会）
10. 第11回日本観光交流・伊勢会議の開催（祈願祭実行委員会）
11. マスコットキャラクター事業（青年部）
12. 外国人観光客誘客事業（情報発信部会、事務局）
13. その他広報宣伝事業

2 観光客の誘致接遇事業（おもてなし行事部、青年部、その他）

行政、商工会議所など各関係団体と協働体制をとり、旅客誘致やおもてなし事業を企画推進していきます。

特に外国人誘客（インバウンド）事業では台湾での現地誘客PRを昨年度に引き続き行ないません。併せて北米地域からの日系人向け誘客PRの予備調査にも入りません。青年部では昨年度に引き続きレンタサイクルを利用したフォトサイクル事業を実施して更なる誘客につなげます。

観光客の誘致接遇事業におきましては次の事業を行います。

1. レンタサイクル事業（青年部、事務局）
2. フォトサイクル事業（青年部、事務局）
3. 観光案内所の運営（案内所、事務局）
4. 「お伊勢さん観光ガイドの会」事業（ガイドの会、おもてなし行事部）
5. 首都圏等への旅客誘致推進事業（全体事業）
6. 各種大会等の誘致接遇（おもてなし行事部、事務局）

7. 歓迎塔、歓迎看板等の設置（事務局）
8. 伝統芸能振興（事務局）
9. 外国人観光客誘致事業（情報発信部会、事務局）
10. 行政並び関係機関との第63回御遷宮へ向けた協働事業（全体事業）
11. 伊勢市駅、宇治山田駅における手荷物事業（事務局）
12. 観光振興研修事業（おもてなし行事部）
13. その他

3 企画調査と組織事業（情報発信部会、おもてなし行事部、青年部、中期政策検討部会）

国・県・市の各関係機関から観光情報を取り入れ、観光に関する動向の調査・研究を行い、地域における観光誘致事業のあり方を考察し、特色ある観光地づくりの研究と様々な実験事業に協力していきます。青年部においては伊勢の食文化にスポットをあてたマップ作成をさらに充実継続させ、さらなる観光資源の発掘も行なっていきます。

以上の目的を達成するために次の事業を行います。

1. 新しい観光地づくりの調査・研究（青年部、情報発信部会、中期政策検討部会）
2. 観光大使及び観光御師制度の充実の為の企画調査（御師委員会）
3. 先進観光地の研究、視察（青年部、情報発信部会、中期政策検討部会）
4. 外宮周辺の活性化対策への協力（青年部、おもてなし行事部）
5. 伊勢の食文化調査企画事業（青年部）
6. 青年部活動と協働（青年部、親会）
7. その他

4 観光施策及び共催事業（おもてなし行事部、青年部、事務局）

伊勢市の伝統、文化を守り継承していく行事を支援し、伊勢を訪れる観光客に伊勢の魅力を伝え、再来訪や情報発信に繋がります。併せて観光事業を通じて関係各団体と連携を図り観光振興、発展に努めます。

以上の目的を達成するために次の事業を行います。

1. 春まつり及び桜開き式（おもてなし行事部）
2. 伊勢神宮奉納全国花火大会（おもてなし行事部）
3. 二見浦海水浴場浜開き（おもてなし行事部）
4. 神宮観月会に併せた観月茶会の開催（おもてなし行事部）
5. 神嘗奉祝祭への協力（おもてなし行事部）
6. 初穂曳への協力（おもてなし行事部）
7. 伊勢冬至祭（南瓜及び柚子の奉納とぜんざい振る舞い）（おもてなし行事部）
8. 越年行事 伊勢神宮奉納餅つきと年越餅の贈呈（おもてなし行事部）
9. 伊勢楽市（春・秋）の開催協力（青年部、事務局）

10. 伊勢の朝市（10月～5月）の開催協力（青年部、事務局）

-3-

11. 参宮木札事業への協力（伊勢志摩キャンペーン含む）（事務局）

12. 御幣鯛奉祝事業（事務局）

13. 行政とのPR企画事業（情報発信部会、青年部、事務局）

14. 伊勢まつりへの協力

15. 御遷宮奉祝行事受入実行委員会への協力（青年部）

16. その他各種団体行事への協力（おもてなし行事部）

5 各種観光事業団体への協力及び事業の推進（事務局）

各観光団体の中枢会員として、事業の協力並びに諸施策の推進を図ります。今後の検討課題として、伊勢志摩地域の関係団体との連携を図り、広域的な観光を目指す方向で検討していきます。

各種観光事業団体への協力及び事業の推進におきましては次の事業を行います。

1. （公社）伊勢志摩観光コンベンション機構
2. （一財）伊勢志摩国立公園協会
3. （公社）三重県観光連盟
4. 伊勢元気再生事業推進協議会
5. 伊勢市国際交流協会
6. 伊勢志摩学生団体誘致委員会
7. （公社）日本観光振興協会
8. 電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会
9. その他団体との協力、連携

6 協賛または後援行事（事務局）

伊勢市内で開催される各種行事の観光誘致事業については賛同し、協賛及び後援をしていきます。

次の各種行事に協賛または後援をしていきます。

1. 猿田彦神社御田祭及び七五三祭
2. 倭姫宮例大祭（春・秋）
3. 二見浦さくらまつり
4. 神社スカウト全国大会
5. 二見大祭しめなわ曳
6. 外宮奉納市
7. 外宮さんゆかたで千人お参り
8. 伊勢神宮奉納選抜社会人野球伊勢大会
9. 都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会
10. 伊勢市民まつり協賛（菊花展）
11. おひなさまめぐり in 二見

1 2. 全日本大学駅伝対校選手権大会（熱田神宮～伊勢神宮）

-4-

1 3. 伊勢神宮奉納全日本学生弓道王座決定戦

1 4. 伊勢志摩中日ウォーク

1 5. お伊勢さんマラソン大会

1 6. 松尾観音寺初午祭

1 7. 神宮奉納大相撲

1 8. 世義寺大護摩

1 9. 金剛證寺開山忌

2 0. 伊勢高柳の夜店

2 1. その他観光事業

7 市受託（入札）事業（事務局、おもてなし行事部）

市から2事業について入札に参加し受託を目指します。

1. 観光案内所（事務局）

（伊勢市駅構内・宇治山田駅構内・外宮前・二見浦・宇治浦田）の運営を通し内外観光客に必要な情報を提供し、ストレスフリー観光の提供を目指します

2. 二見浦海水浴場の運営（事務局、おもてなし行事部）

日本初の公認海水浴場の運営を通しおもてなしと情報発信をしていきます。

<収益事業>

1 賃貸事業

伊勢市駅前ビルの賃貸事業に加え、風餐亭1F研修室を使った賃貸事業を推進します。

2 物品販売事業（青年部）

「伊勢乃国発ええじゃないか便」を使った情報発信と収益事業。インターネット通販の拡充と各地イベントなどへの出店をしていきます。

3 会員互助事業（情報発信部会、中期政策検討部会、青年部、事務局）

会報誌「ええじゃないか伊勢」の発行、青年部におけるインターネットを使用した会員の情報発信ウェブサイトの充実や、会員互助事業企画等を考えていきます

<本部事業>

1 中期政策検討部会

協会の運営や事業、その方向性などについて検討し、理事会へ提言していきます。先進地への研修なども視野にいれ健全な協会運営に役立てます。

